

令和4年11月分（3件）

【だん暖たてやまに目次を・だん暖たてやま左開きに について】

内容	<p>だん暖たてやまは月2回の配布から1回となりページ数が多くなりました。 11月号27頁 10月号27頁 目次がないので初めから終わりまで目を通さねばなりません。 注目情報はありますが暮らしだけでも11月号は7頁あります。 内容が解る目次があれば自分に関係のある所だけを読むと思います。 くらしの百科の目次が読み易いと思いますので同封いたします。 参考にして下さい。</p> <p style="text-align: right;">【R4.11.9 受理】</p>
内容	<p>だん暖たてやま5月号は、何の前触れもなく突然左開きになりました。 びっくりしました。何があったのか。 私は令和元年8月 左めくりを提案いたしました。 その回答は 今の形に慣れているところを左めくりにすることで逆に読みづらくなる恐れがあるとのことでした。 あれから4年 時は熟したのだと自分ながら納得しておりましたが 5ヶ月過ぎた今も頭から離れません。何があって突然左開きにしたのか教えて下さい。 なぜ5月ですか 左開きになって読みやすくなりました。</p> <p style="text-align: right;">【R4.11.9 受理】</p>
回答	<p>まず、広報「だん暖たてやま」に目次をとのご提案についてですが、おっしゃるとおり広報紙の発行を月1回にしたことで、1号あたりのページ数は増えています。 月2回発行を月1回にすれば単純に1号あたりのページ数は倍となるため、関連記事をまとめるなど、紙面レイアウトについて創意工夫することで、ページ数増加の抑制に努めています。また、ページ数の増加に合わせ、各ページの端にインデックスを表示し、見たい記事を探す目安としています。 ご提案いただいた目次を入れることで、更に探しやすくなることと思いますが、目次を入れることで毎号1ページ増となるため、限られた予算の中、現時点での導入は難しいものと考えます。 次に、広報「だん暖たてやま」を左めくりへと切り替えた経緯ですが、近年、広報紙等では、アルファベットや算用数字等を用いる場合に、読みやすいとされる横組みの記事が増えており、館山市でも横組みの記事を中心に作成しています。 ご提案も含め、市民の方から多くのご意見をいただく中で、令和4年度（2022年5月号）から左めくりへ切り替えることとしました。 今後も、皆様からいただいたご意見等を踏まえて、見やすい広報紙面づくりに努めてまいりますので、ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。</p> <p style="text-align: right;">【R4.11.22 回答】</p>

【循環バス について】

内容	<p>循環ルートが不便すぎます。 他の地域は住宅街を走るものですが、館山は主要な施設のみなので、もっと住宅街を走らせて下さい。 希望は沼地区とまるへいまでをつなげるべきだと思います。お願いします！！</p> <p style="text-align: right;">【R4.11.9 受理】</p>
----	--

<p>回答</p>	<p>市街地循環バスについては、「館山駅まで来て、その先の移動手段が無い」といったご意見を踏まえ、館山駅からおおむね半径2キロ圏内の公共施設や商業施設等への便利な移動手段を設け、皆様に市街地をストレスなく巡っていただくために運行しているものです。</p> <p>御指摘のとおり、他の市町村では住宅地も含めた巡回を行っている事例もありますが、館山市の場合は、上記の実施目的により運行していることから、今のところ市街地循環バスの運行エリアを拡大する予定はありません。</p> <p>市としては、今後、「主要路線バスの維持・路線バスが走っていない交通空白地や路線バス形式では運営が成り立たないエリアでの新たな移動手段確保・市街地の回遊性向上」を柱として、市内の移動手段を充実させていきたいと考えています。</p> <p>なお、お住まいの地区には、路線バス（日東交通市内線、JRバス洲の崎線）が運行されていますので、これらをご活用いただき、直接または館山駅で市街地循環バスに乗り換えの上、目的地までお出かけいただければと思います。</p> <p>ご不便をおかけすることもあるかと思いますが、御理解賜りますようお願い申し上げます。</p> <p style="text-align: right;">【R4. 11. 16 回答】</p>
------------------	--

【子供（5歳以下）にコロナワクチンの予防接種をしたくてもできない】

<p>内容</p>	<p>コロナワクチンの予防接種を子供（5歳以下）にすることも国が推奨しているが、子供が副反応で熱が出た場合、親は会社を休んで子供の面倒を見なくてはならない。</p> <p>副反応で2～3日間休んだとして、さらにこども園では熱が下がってから1日経たないと登園できないとしているので、3～4日間会社を休む必要がある。</p> <p>5歳以下の子供は体調を崩しやすいのでよく呼び出しされる為、現状有給は半分も残っていない。そこへコロナワクチンの予防接種で有給を消化してしまったら有給はほとんど残らない。</p> <p>これから冬本番で風邪やインフルエンザに子供がかかる可能性が非常に高いので、それを考えるとコロナワクチンの予防接種を受けさせたいが受けさせることができない。</p> <p>なので、子供がコロナワクチン接種後、副反応が出て親と一緒に付き添わなければいけない家庭へ給与保証をしてほしい。</p> <p>仕事先と連携をとってもらい、子供の副反応中は休んでも有給消化とならず、給与も休んだ分の給与は保証してくれるという取り組みをして欲しい。</p> <p style="text-align: right;">【R4. 11. 24 受理】</p>
<p>回答</p>	<p>この度は、お子様に対する新型コロナワクチン接種について、積極的にご検討いただきありがとうございます。</p> <p>ご存知のとおり、新型コロナワクチン接種につきましては、発症予防効果が期待でき、安全性においても、臨床試験の結果に基づいて、大きな懸念はないとされています。</p> <p>ただし、接種後には発熱等の副反応が出る場合があります、保護者の皆様には、仕事を休むといったご負担をおかけすることになりますが、ワクチンの効果を踏まえ、ご理解をいただきたいと思っております。</p> <p>厚生労働省では、新たな休暇制度を設けたり、既存の休暇制度の要件を緩和することの検討を企業側に呼び掛けており、子どものワクチン接種を希望する社員が安心してワクチン接種に臨めるよう、社員の希望や意向も踏まえて必要な取り組みを進めることを企業に求めています。</p> <p>また、館山市では、このような休暇を取得された場合に対する「給与保証・給付」は行っておりませんので、上記を踏まえ、お勤め先にご相談されることをお勧めいたします。</p>

引き続き、市内事業所には、休暇を取得しやすい環境の整備について、様々な機会を捉え働きかけていきたいと考えています。
貴重なご意見ありがとうございました。

【R4. 11. 30 回答】